



JASDAQ

2015年10月7日

各 位

会 社 名 マックスバリュ北海道株式会社
 代表者名 代表取締役社長 出戸 信成
 (コード番号: 7465 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 石岡 忠雄
 電 話 011-631-5192
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

2016年2月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異

および通期業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2015年4月9日に公表した2016年2月期第2四半期累計期間(2015年3月1日～2015年8月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、2016年2月期通期(2015年3月1日～2016年2月29日)の業績予想を下記の通り修正するとともに、2016年2月期第2四半期累計期間において、下記の通り特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

2016年2月期 第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異(2015年3月1日～2015年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	450	485	△200	△29.23
実績値 (B)	51,097	409	447	△90	△13.27
増減額(B-A)	1,097	△41	△38	110	—
増減率(%)	2.2	△9.1	△7.8	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2015年2月期第2四半期)	48,571	565	610	279	40.90

2. 業績予想の修正

2016年2月期 通期業績予想数値の修正(2015年3月1日～2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	1,550	1,600	450	65.77
今回修正予想(B)	104,000	1,550	1,600	450	65.77
増減額(B-A)	4,000	0	0	0	—
増減率(%)	4.0	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	96,658	1,510	1,595	428	62.64

3. 差異および修正の理由

2016年2月期第2四半期累計期間における営業収益は、継続的に実施している既存店舗の活性化やイオンの電子マネーWAONの会員さま拡大等により客数が増加したことと、即食、中食需要の高まりに対応したデリカゾーンの強化や節約・低価格志向に対応した毎週の重点販売商品の販売強化等により買い上げ点数が増加し、客単価が向上したこと等により好調に推移いたしました。一方販売費及び一般管理費は、新規出店の新店投資、店舗活性化の改装投資に加え、電気料金の単価上昇の影響や事業承継に関する費用の発生等もあり営業総利益の伸びを上回る結果となりました。また四半期純利益（損失）につきましては、株式売却の意思決定による税効果会計により、前回予想数値から改善する見込みとなりました。通期業績予想につきましては、9月1日に株式会社ダイエーから承継した事業の影響を反映し、上記のとおり修正いたします。なお、10月1日に株式会社いちまるから承継した事業を含めた業績予想については、現在精査中であり、予想数値が確定次第速やかに開示いたします。

4. 特別損失の計上とその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、店舗等に係る減損損失として3億18百万円を計上いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上